



2026 年 3 月 17 日

各 位

会 社 名 巴 工 業 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 玉 井 章 友
(コード番号:6309 東証プライム市場)
問 い 合 わ せ 先 経 営 企 画 部 担 当 取 締 役 執 行 役 員 橘 田 一 幸
TEL : 03-3442-5128

バイナリー発電装置をはじめとした
低温廃熱の活用分野における今後の事業構想について

巴工業株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:玉井 章友)は、現中期経営計画『Create The New Future』(2026年10月期~2028年10月期 https://www.tomo-e.co.jp/ir/pdf/prezen_26_14.pdf)における機械事業の重点施策「第二の柱 バイナリー発電装置の販売促進による事業基盤の確立」推進の一環として、250°C未満の低温廃熱活用分野における事業領域を拡大いたします。

当社は、従来の 30kW バイナリー発電装置に加え、(1)125kW バイナリー発電装置の事業譲受ならびに米国カルネティクス テクノロジーズ社タービン発電機 技術導入 (2026 年 3 月 17 日開示のプレスリリースご参照)、(2)マックスワット社(本社:インド・カルナータカ州バンガロール市、共同出資者: Satish Pandey, C G Venkatesh) の蒸気発電装置に関する国内独占販売権の獲得、(3)熱交換器の新規取り扱い開始により、技術的・経済的な理由から活用が進んでいなかった 0°C から 250°C までの低温廃熱を有効活用できる製品ラインナップを取り揃え、新たな販売体制(下表)を構築しましたのでお知らせいたします。

表. 廃熱活用分野における当社の事業領域

廃熱の温度帯	当社製品での廃熱活用方法	当社の製品ラインナップ(代表例)	対象マーケットの一例
0~80°C	熱利用	熱交換器ならびに関連設備	製造業、農業、温泉、養殖など
80~150°C	発電	バイナリー発電装置(30kW および 125kW)	下水焼却炉、ごみ処理場、製造業など
150~250°C	発電	蒸気発電装置	下水焼却炉、ごみ処理場、製造業など
250°C以上	対象外	-	対象外(発電所、鉄鋼メーカーなど)

中期経営計画の重点施策ではバイナリー発電装置の販売を「第二の柱」と位置づけておりますが、当社の成長戦略上、バイナリー発電の周辺分野に位置する低温廃熱活用領域での製品ライン

ナップ拡充も重要と捉えております。当社のデカンタ型遠心分離機の主力マーケットである下水焼却炉およびごみ焼却炉向け市場での需要獲得ならびに化学品商社事業における販売網活用など、既存事業とのシナジーを発揮して、低温廃熱活用分野における発電需要および熱利用需要の獲得に取り組んでまいります。

今後はバイナリー発電装置事業を中心とした低温廃熱の活用分野での収益拡大ならびに再生可能エネルギー普及に向けた取り組みをより一層推進し、当社機械事業の主力商品であるデカンタ型遠心分離機に匹敵する売上高規模へと成長させることを目指します。未利用の熱エネルギーを用いた環境負荷の少ない再生可能エネルギー活用モデルを確立することで、地域共生と脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

【マックスワット社について】

インド・カルナータカ州バンガロール市に本社を置く MaxWatt Turbomachinery LLP は、産業分野およびエネルギー分野に向けて、革新的な蒸気タービンおよび回転機械に関する技術開発ならびに課題解決への取り組みを展開しています。同社は世界各地で長年の実績を積んだタービン分野の専門家によって設立され、地熱発電や太陽熱発電の高度な用途を含め、20 カ国以上で導入されているタービンシステムの開発に携わってきました。これまでに培ってきた豊富な知見を基盤として、同社は高効率の小型蒸気タービンおよび各種機械の性能向上に寄与する高度な技術開発に取り組んでいます。詳細については、同社 HP (<https://maxwatt.in/>) をご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

住所 : 東京都品川区北品川五丁目 5 番 15 号
担当部署 : 巴工業株式会社 経営企画部 IR・企画課
電話番号 : 03-3442-5128
メールアドレス : ir-info@tomo-e.co.jp

※なお、関連製品の導入・設置に関するご相談・お見積りは以下にて承ります。

住所 : 東京都品川区北品川五丁目 5 番 15 号
担当部署 : 巴工業株式会社 機械本部 バイナリー営業部
電話番号 : 03-3442-5152

以上